

LK-122

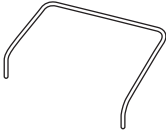
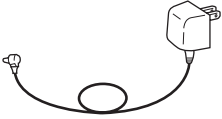
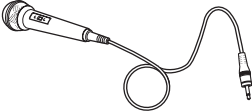

JA

取扱説明書（保証書別添）

この取扱説明書は、お読みになったあとも、
保証書とともに、大切に保管してください。

「安全上のご注意」
ご使用前に、添付別紙「安全上のご注意」を
お読みの上、正しくお使いください。

付属品一覧

 譜面立て	 楽譜集(2冊) 歌詞集(1冊)	 ACアダプター:AD-E95100L
 マイク	 マイクホルダー	 マイクホルダーベース
<p>リーフ類</p> <ul style="list-style-type: none"> • カシオ電子楽器保証書 • 安全上のご注意 • お客様ご相談窓口 • Appendix • その他 		

- 欠品、破損、紛失等の場合は、ご購入された販売店にお問い合わせください。(ACアダプターは別売品で購入可能)
- 付属品のデザインと内容は、予告なく変更されることがあります。

別売品のご案内

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
サステインペダル	SP-3
	SP-20
ACアダプター	AD-E95100L

商品名	品番
イス	CB-5
	CB-7
	CB-30

- カシオ電子楽器取扱店で購入可能。
- 店頭のカシオ電子キーボードカタログでより詳しい情報がご覧になれます。

<http://casio.jp/emi/catalogue>

本書の内容について

- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書のイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

■ JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

CEマーキングは、ヨーロッパ地域の基準適合マークです。

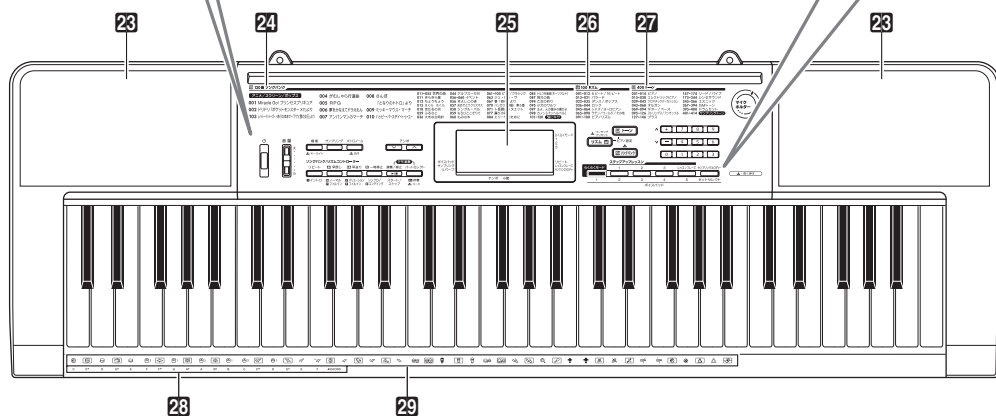
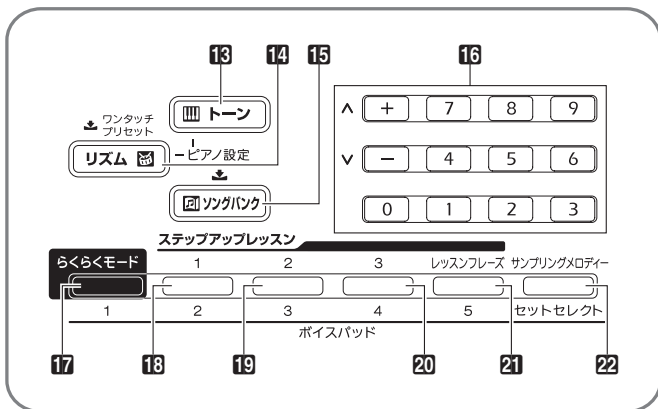
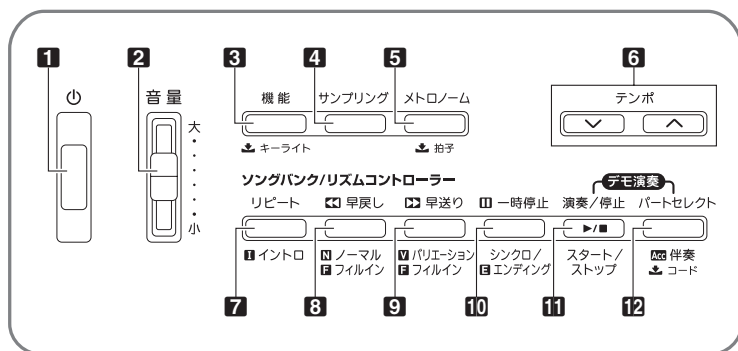

 Manufacturer:
 CASIO COMPUTER CO., LTD.
 6-2, Hon-machi 1-chome, Shibuya-ku, Tokyo 151-8543, Japan
 Responsible within the European Union:
 Casio Europe GmbH
 Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany
www.casio-europe.com




目次






























全体ガイド	2	自動伴奏をバックに演奏しよう	27
数字、[-]、[+]ボタン(16)の使いかた	4	リズムパートだけを鳴らそう	27
機能ボタン(8)の使いかた	4	すべてのパートを鳴らしてみよう	28
演奏の準備	5	自動伴奏を使いこなそう	30
譜面立て、マイクの準備	5	お勤めの音色やテンポにする (ワンタッチプリセット)	31
電源の準備	5	他の外部機器と接続する	32
ご使用上の注意	6	パソコンとの接続	32
演奏してみよう	7	各種 MIDI 設定	33
電源を入れて演奏してみよう	7	オーディオ機器とつなぐ	34
ヘッドホンを使う	8	資料	35
鍵盤を押す強弱で音量を変える (タッチレスポンス)	8	困ったときは	35
鍵盤の光を消す	8	製品仕様	37
パッドを鳴らしてみよう (ボイスパッド)	9	ソングリスト	38
メトロノームを使ってみよう	9	指定できるコード種一覧	39
工場出荷時の状態に戻すには	10	保証・アフターサービスについて	40
音を変えて弾いてみよう	11	コード例一覧	41
いろいろな楽器の音色で弾いてみよう	11	MIDI インプリメンテーション・チャート	
響くような音で弾いてみよう(リバープ)	12		
ペダルを使ってみよう	12		
音の高さを変えて弾いてみよう (トランスポーズ、チューニング)	12		
好きな音を記録して弾いてみよう (サンプリング)	13		
サンプリング音でリズムを鳴らしてみよう (ドラムアサイン)	16		
サンプリングした音を使ったフレーズが 再生されないようにする	16		
ソング(内蔵曲)を鳴らそう	17		
デモを聴いてみよう	17		
ソングを1曲ずつ聴いてみよう	17		
ソングに合わせてマイクで歌ってみよう	20		
サンプリング音でソングを鳴らしてみよう (サンプリングメロディー)	20		
ソング(内蔵曲)で曲をマスターしよう	21		
らくらくモード	21		
ステップアップレッスン	22		
ステップアップレッスン中の さまざまな設定	25		

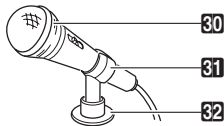
全体ガイド




- 本書の操作説明では、ボタンやつまみなどを番号で表現します。
- 本書の巻末にある資料に、各部の番号を掲載しています。切り離してご活用ください。



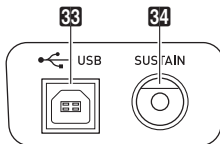
- 製品本体、および下記のボタンの名称と一緒に記載されている、 というマークは、次の意味です。
 : そのボタンをしばらく押したままにしたときに、有効になる機能です。
-  マークの数字は参照ページです。

- 1  (電源) ボタン 7
- 2 音量つまみ 7
- 3 機能、 キーライトボタン 4
- 4 サンプリングボタン 14
- 5 メトロノーム、 拍子ボタン 9
- 6 テンポボタン 10, 19, 31
- 7 リピート、イントロボタン 19, 30
- 8 早戻し、ノーマル/フィルインボタン 18, 30
- 9 早送り、バリエーション/フィルインボタン 18, 30
- 10 一時停止、シンクロ/エンディングボタン 18, 30
- 11 演奏/停止、スタート/ストップボタン 18, 27
- 12 パートセレクト、伴奏、 コードボタン 20, 28
- 13 トーンボタン 11
- 14 リズム、 ワンタッチプリセットボタン 27, 31
- 15 ソングバンクボタン 17
- 16 数字ボタン、-/+ボタン 4
- 17 らくらくモード、ボイスパッド1ボタン 9, 22
- 18 レッスン1、ボイスパッド2ボタン 9, 24
- 19 レッスン2、ボイスパッド3ボタン 9, 24
- 20 レッスン3、ボイスパッド4ボタン 9, 25
- 21 レッスンフレーズ、ボイスパッド5ボタン 9, 22
- 22 サンプリングメロディー、セットセレクトボタン 9, 20
- 23 スピーカー
- 24 ソングバンクリスト
- 25 液晶画面
- 26 リズムリスト
- 27 トーンリスト
- 28 コードルート音名 28
- 29 打楽器イラスト 11



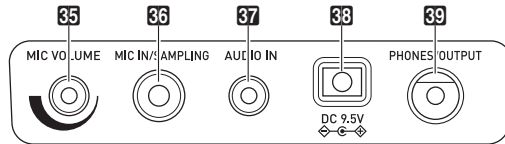
- 30 マイク 5
- 31 マイクホルダー 5
- 32 マイクホルダーベース 5






■ 背面部



- 33 USB端子 32
サステイン
- 34 SUSTAIN端子 12

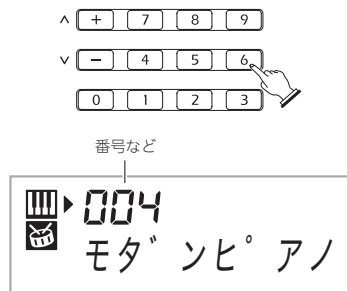
- 35 MIC VOLUMEつまみ 13
マイク音量
- 36 MIC IN/SAMPLING端子 13
マイク入力/サンプリング



- 35 オーディオ入力
MIC VOLUMEつまみ 13
- 36 MIC IN/SAMPLING端子 13
- 37 AUDIO IN端子 34
- 38 電源端子 (DC 9.5V) 5
- 39 PHONES/OUTPUT端子 8, 34
ヘッドホン/アウトプット

数字、[-]、[+]ボタンの(16)の使いかた

液晶画面の左上に表示されている番号などを変更します。



数字ボタン

数字ボタンを押すと、選びたい番号や数値を入力できます。
 ・入力するときは、表示されている数値と同じ桁数を入力します。

例：音色番号004番を選ぶ場合は「0」→「0」→「4」と入力する。

メモ

- 負(マイナス)の値は、数字ボタンでは入力できません。[-]または[+]ボタンで入力してください。

[-]、[+]ボタン

[-]または[+]を押すと、表示されている番号や数値を1つずつ増減させます。

- ボタンを押し続けると番号や数値が連続して増減します。
- 両方のボタンを同時に押すと初期値、またはお好みの数値になります。

機能ボタン(3)の使いかた

この楽器は演奏するだけでなく、リバーブ効果やペダル効果などさまざまな設定ができます。

1. 3 (機能)を押します。



2. 続けて3 (機能)を何度か押して設定の種類を選びます。

3 (機能)を押すたびに、下記のように設定の種類が切り替わります。

3 (機能)を押したまま 4 を押すたびに、1つ前の設定の種類に戻ります。

3を押す回数	設定の種類	表示	参照ページ
1	トランスポース	トランスポース	12
2	自動伴奏の音量	パンソウVol	31
3	ソングの音量	キョクVol.	19
4	タッチレスポンス	タッチ	8
5	チューニング	チューニング	13
6	リバーブ	リバーブ	12
7	運指音声	ウンシオンセイ	25
8	弾くべき音のガイド	サウンドナビ	25
9	採点	サイテン	25
10	フレーズの長さ	フレーズチョウ	22
11	レッスンの伴奏	Lパンソウ	26
12	サンプリング オート(自動)スタート	Sオートスタート	15
13	サンプリング メロディー	Sメロディー	20
14	サンプリング フレーズの再生	Sフレーズ	16
15	サンプリング の音取り	Sオトリ	15
16	キーボードチャンネル	キー チャンネル	33
17	ナビゲートチャンネル	ナビチャンネル	33
18	ローカルコントロール	MIDIローカル	34
19	アカンブアウト	アカンブアウト	34
20	ペダルの効果	ジャック	12
21	電源切り忘れお知らせ 機能	デモ2	7

- 上記の表示名のうち、「L」は「レッスン」、「S」は「サンプリング」を略して表示したものです。

3. 16 (数字、+ボタン)を使って設定値を変更します。

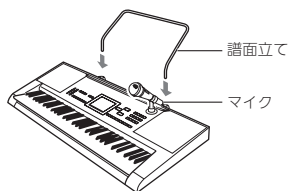
- しばらく何も操作しないと、元の表示に戻ります。

重要

- 本機の電源を切ると、音色番号などの各種設定が初期化されます(7ページ)。

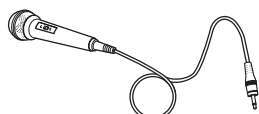
演奏の準備

譜面立て、マイクの準備

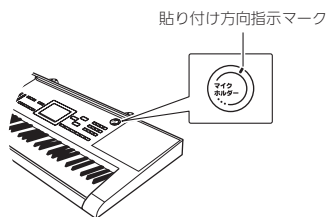


マイクの取り付けかた

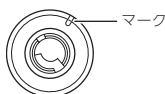
1. 付属品のマイク、マイクホルダー、マイクホルダーベースを確認してください。



2. 本機の右上側にある「マイクホルダー」と書かれた部分を柔らかい布などでふいて、汚れを落とします。



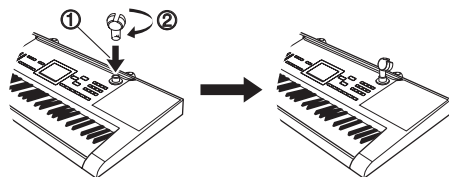
3. マイクホルダーベースの裏面の紙をはがして、本機の上図の場所に貼り付けます。
このときマイクホルダーベースのマーク(下図)が、上図の貼り付け方向指示マークにあうように貼り付けてください。



4. 30分~1時間ほど力を加えずにそのまま置いてください。

この間に力を加えると、はがれやすくなりますのでご注意ください。

5. マイクホルダーの凸部をマイクホルダーベースに差し込み(下図①)、右回りに回します(下図②)。



6. マイクをマイクホルダーに差し込んで固定します。

- マイクのケーブルをマイクホルダーに通してから、マイク本体を差し込んでください。

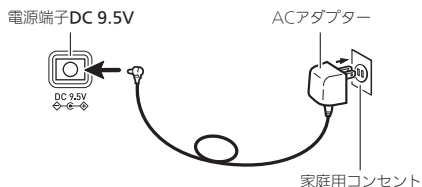
電源の準備

この楽器は電源としてACアダプターか乾電池をご使用できますが、基本的にはACアダプターをご使用されることをお勧めします。

ACアダプターを使う場合

本機指定のACアダプター(JEITA規格・極性統一形プラグ付き)を使用してください。他のACアダプターを使用すると故障の原因になることがあります。

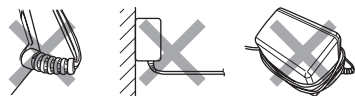
ACアダプターの型式: AD-E95100L



重要

- ACアダプターを差したり抜いたりする前に、必ず本機の電源を切ってください。
- 長時間ご使用になりますとACアダプターが若干熱をもちますが、故障ではありません。
- 断線防止のため、コードになるべく負荷がかからないようご注意ください。

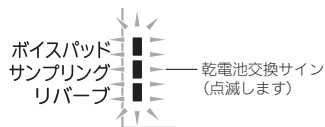
折り曲げない 引っ張らない 巻きつけない



- 本機の電源端子 (DC 9.5V) に、金属片や鉛筆などを入れないようご注意ください。これらが端子に入ると、事故の原因になります。

■ 乾電池交換時期のお知らせ表示

乾電池が消耗してくると以下の表示が点滅しますので、新しい乾電池と交換してください。



ご使用上の注意

別紙「安全上のご注意」と併せてお読みください。

■ 設置上のご注意

本機を次のような場所に設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所。
- 極端に温度の低い場所。
- ラジオや、テレビ、ビデオ、チューナーに近い場所(これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起こることがあります)。

■ 本機のお手入れについて

- お手入れにベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は使わないでください。
- 鍵盤などのお手入れは柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞ってお拭きください。

■ 付属品・別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ ウェルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウェルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

■ 音のエチケット

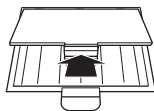
楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかけられない音量でお楽しみください。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

乾電池を使う場合

重要

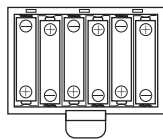
- 乾電池を入れる前に、必ず本機の電源を切ってください。
- 乾電池は市販の単3形乾電池をご使用ください(オキシライド乾電池などのニッケル系一次電池は使用しないでください)。

1. 本機の裏側にある電池フタをはずします。

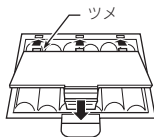


2. 市販の単3形乾電池、6本を電池ケースに入れます。

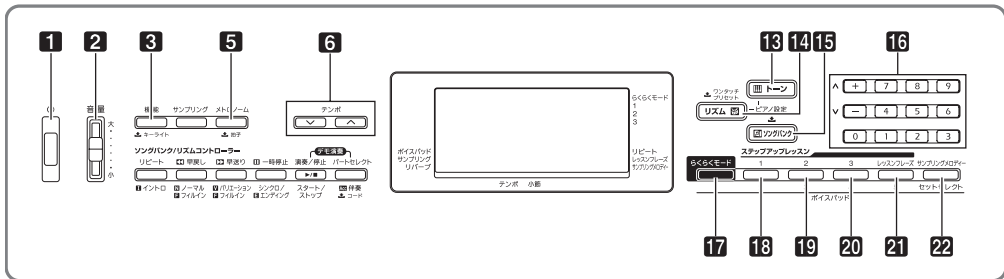
イラストに合わせて⊕⊖の向きを間違えないように入れてください。



3. 電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じます。

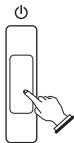


演奏してみよう

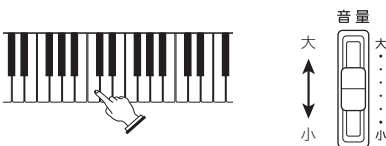


電源を入れて演奏してみよう

1. **1**を押して、本機の電源を入れます。



2. 鍵盤を弾いてみましょう。また**2**で音量の調整をしましょう。



3. 本機の電源を切るには、**1**を押します。

重要

- 本機の電源を切ると、音色やリズム番号などの各種設定が初期化されます。

メモ

- 1**で電源を切ったあとも、本機は微電流が流れているスタンバイ状態になっています。本機を長時間使用しないとき、あるいは落雷のおそれがあるときは、必ずACアダプターをコンセントから外してください。

オートパワーオフ機能

本機を使用中に以下の時間何も操作しないと、自動的に電源が切れます。

- 乾電池で使用しているとき : 6分間
- ACアダプターを接続しているとき : 30分間

■ オートパワーオフ機能をキャンセルして使う

コンサートなどで演奏の合間に電源が切れないよう、オートパワーオフ機能をキャンセルして使用できます。

1. **16** (トーン) を押しながら電源を入れます。

オートパワーオフ機能がキャンセルされて電源が入ります。

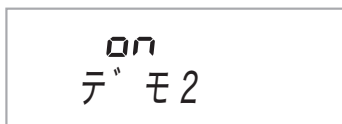
電源切り忘れお知らせ機能 (ACアダプター使用時のみ)

ACアダプターで使用中に6分間何も操作しないと、電源切り忘れ防止のために鍵盤が光ります (乾電池を使用時は、この機能は作動しません)。

■ 電源切り忘れお知らせ機能をオフにする

コンサートなどで演奏の合間に鍵盤が光らないよう、お知らせ機能をオフにして使用できます。

1. 液晶画面に“デモ2”と表示されるまで、**3** (機能) を何度か押します (4ページ)。

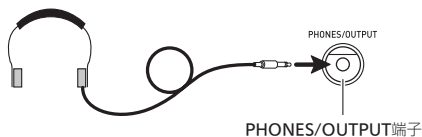


2. **16** (数字、+ボタン) の[-]を押して、オフに設定します。

ヘッドホンを使う

ヘッドホンを使用すると内蔵スピーカーから音が出なくなり、夜間でも周囲に気兼ねなく演奏が楽しめます。

- 本機の音量を絞ってから、ヘッドホンを接続してください。



メモ

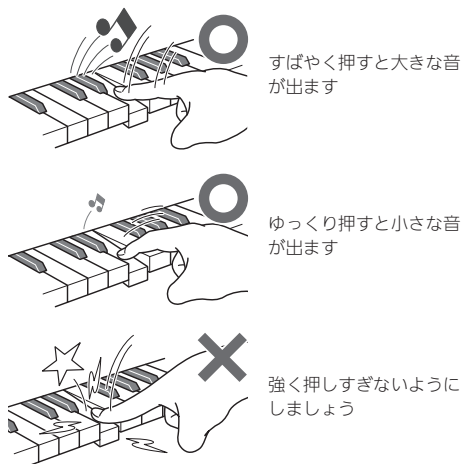
- ヘッドホンは本製品に同梱されておりません。
- 別売または市販のヘッドホンがご使用になれます。

重要

- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害になる恐れがあります。
- ヘッドホンのプラグの形状が端子にあわない場合は、市販の変換プラグをご使用ください。
- ヘッドホンのコードを本機から抜くときは、変換プラグだけを本機に残さないようにご注意ください。

鍵盤を押す強弱で音量を変える (タッチレスポンス)

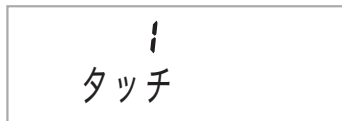
タッチレスポンス機能とは、鍵盤を押す強さ(速さ)で音量を変化させる機能です。タッチレスポンス機能を使うと本物のピアノのように鍵盤を押す強さ(速さ)で音量が変化し、演奏の表現が豊かになります。



タッチレスポンスの感度を変える

鍵盤を押した速さにより変化する音量の大きさを変えてみましょう。自分の演奏スタイルに合わせた設定で楽しめます。

1. 液晶画面に“タッチ”と表示されるまで、**3** (機能) を何度か押します(4ページ)。



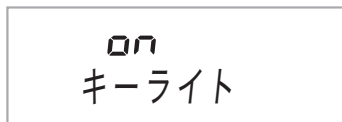
2. **16** (数字、-+ボタン)の[-]または[+]を押して、タッチレスポンスの感度を下記の3種類から選びます。

オフ(oFF)	タッチレスポンスを解除します。鍵盤を押す速度が変化しても音量は一定のままです。
タイプ1(1)	標準的な設定です。
タイプ2(2)	タイプ1より大きな音を出しやすい設定になります。

鍵盤の光を消す

この楽器は演奏や曲の自動演奏などに合わせて鍵盤が光ってガイドする機能がありますが、鍵盤を光らなくさせることができます。

1. 液晶画面に“キーライト”と表示されるまで**3** (機能)をしばらく押し続けます。



2. **16** (数字、-+ボタン)の[-]を押して、オフに設定します。

パッドを鳴らしてみよう (ボイスパッド)

パッドをたたいて、さまざまな効果音や自分で記録した音(13ページ「サンプリング」)を鳴らして楽しめます。パッドを使って演奏をさらに盛り上げましょう。

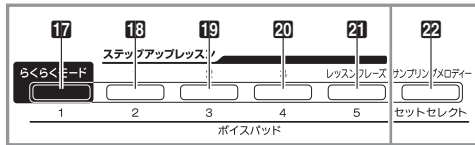
1. **14** (リズム) を押します。

ボイスパッド
サンプリング
リバーブ

■ — 点灯します

2. パッド1～5 (**17**～**21**) を押して、音を鳴らしてみよう。

音の種類には以下の4セット(パッドセット)があります。**22**を押すごとにセット1～4の間で切り替わります。



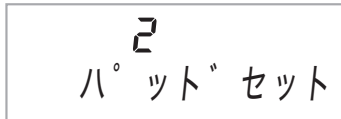
	パッド 1	パッド 2	パッド 3	パッド 4	パッド 5
セット1	音色402番 "ボイス パッド1"	音色403番 "ボイス パッド2"	音色404番 "ボイス パッド3"	音色401番 "オリジナル"*1	
セット2	セット1の音がいろいろなビッチで鳴る*2				
セット3	セット1の音を繰り返す*3				
セット4	ガンショット	ティンパレス	ボンゴ	コンガ	タンバリン

※1: パッド5は、元の音(パッド4)の完全5度上

※2: パッド1:完全5度上、パッド2:完全5度下、
パッド3:セット1と同じ、パッド4:長3度上、
パッド5:完全5度下

※3: パッド1と5はビッチが徐々に上がり、
パッド2は徐々に下がる

例: セット2を選んだ場合



記録した音(サンプリング音)をパッドで鳴らす

サンプリングで音を記録すると、セット1～3の音とその記録した音に変わります。詳細は13ページをご参照ください。

メトロノームを使ってみよう

メトロノームを使うと一定の間隔で音を刻みますので、演奏や練習のときにテンポを正しく保つことができます。自分にあったテンポで練習しましょう。

スタート/ストップ

1. **5** を押します。

メトロノームがスタートします。



2. もう1回**5**を押すと、メトロノームが止まります。

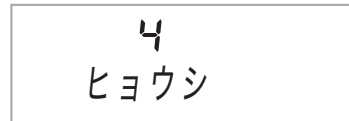
拍子を変える

曲の拍子に合わせて1拍目に「チーン」と鳴らし、それ以外の拍では「カチ」と鳴らすことができます。

- 拍子は、0、2、3、4、5、6拍子から選べます。
- ソング(内蔵曲)の演奏中は、その曲の拍子になります。

1. 液晶画面に拍子の変更画面が表示されるまで、**5**をしばらく押し続けます。

- しばらく何も操作しないと、元の表示に戻ります。



2. **16** (数字、一十ボタン) を押して、拍子の数を入力します。

- 0拍子を選ぶと「チーン」と鳴りません。拍子を気にすることなく練習したいときに使います。

メモ

- セット番号の表示中には**16**(数字、一十ボタン)でも番号を変えることができます。
しばらく何も操作しないと元の表示に戻ります。

テンポを変える

自分の弾きたいテンポとメトロノームのテンポをあわせませます。

1. **6**を押します。

- ✓を押すとテンポが遅くなり、∧を押すとテンポが速くなります。押し続けると連続して変えられます。
- ✓∧を一緒に押すと、そのときに選ばれているソングやリズムの初期値に戻ります。
- **6**を押すと画面のテンポ数表示が点滅をはじめます。点滅中は**16**(数字、+ボタン)でもテンポ数を変えることができます。
例: テンポ89を入力するときは“0”→“8”→“9”と最初に0を入力します。
- しばらく何も操作しないと、テンポ数の点滅が終了して点灯に戻ります。



メトロノームの音量を変える

メトロノームの音量を変更するには、自動伴奏の音量やソング(内蔵曲)の音量の設定を変えます。

- 自動伴奏の音量変更は、31ページをご参照ください。
- 曲の音量変更は、19ページをご参照ください。

メモ

- 自動伴奏や自動演奏曲と、メトロノームとの音量バランスは変更できません。

工場出荷時の状態に戻すには

本機のデータや設定などシステムの内容をすべて初期化して、工場から出荷したときの状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を切ります。

2. **15**(ソングバンク)と**16**(数字、+ボタン)の[1]を両方とも押しながら、**1**を押します。

- **15**(ソングバンク)と**16**(数字、+ボタン)の[1]を離さずに押ししたままで、次へ進んでください。

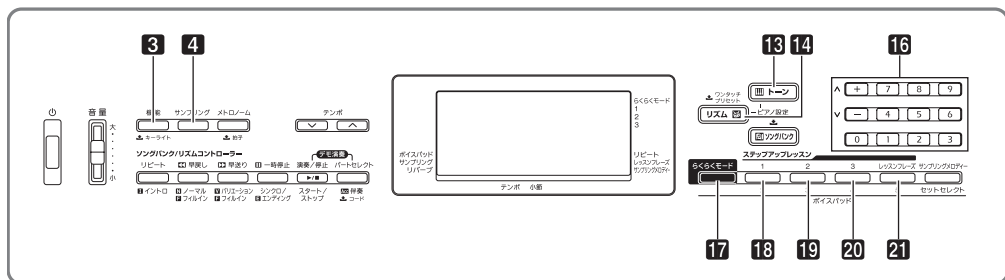
3. 液晶画面に“オマチクダサイ”と表示されたら、**15**(ソングバンク)と**16**(数字、+ボタン)の[1]を離します。

- システムの初期化をしばらく行った後に、演奏できる状態になります。

メモ

- 電源のオンオフ操作については、7ページ「電源を入れて演奏してみよう」をご参照ください。

音を変えて弾いてみよう



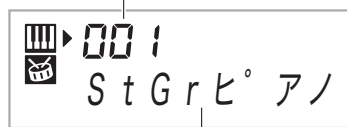
いろいろな楽器の音色で弾いてみよう

この楽器はバイオリン、フルート、オーケストラの楽器など、さまざまな楽器の音色で演奏ができます。同じ曲でも楽器の種類を替えて弾けば、さらに多彩な演奏が楽しめます。

演奏する楽器を決める

1. 13(トーン)を押します。

音色番号



音色名

2. 16(数字、+ボタン)を押して、音色番号を入力します。

液晶画面に番号と楽器の名前が表示されますので、好きな楽器を選びます。

- 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。

例: 001なら、“0”→“0”→“1”と入力します。

メモ

- 音色の一覧は別紙「Appendix」をご覧ください。
- ドラムセットの音色が選ばれていると、鍵盤ごとにさまざまな打楽器が鳴ります。

3. 鍵盤を弾いてみましょう。

選んだ楽器の音色が出ます。



ピアノの音色で弾く(ピアノセッティング)

13(トーン)と14(リズム)を同時に押します。

グランドピアノの音色(001番“ステレオグランドピアノ”)になります。

設定される内容

音色番号	: “001”
リバーブ	: “06”
トランスポーズ	: “00”
タッチレスポンス	: オフのとき: 初期値(タイプ1) オンのとき: 変更なし
ペダルの効果	: サステイン
リズム番号	: “91”
自動伴奏	: リズムパートのみ
ローカルコントロール	: オン
ドラムアサイン	: オフ

響くような音で弾いてみよう (リバーブ)

リバーブを使うと音に残響音を加えることができます。この楽器では残響音の長さを調整することができますので、一味違った演奏をしてみましょう。

1. 液晶画面に“リバーブ”と表示されるまで、**3** (機能)を何度か押します(4ページ)。

oFF
リハ[°]ーブ

2. **16** (数字、+ボタン)の[-]または[+]を押して、残響音の長さを調整します。リバーブのタイプは下記の表のとおりです。

オフ(oFF)	リバーブ効果がかかりません。
1~10	数値が大きくなるほど残響が長くなります。

02
リハ[°]ーブ

ボイスパッド
サンプリング
リバーブ

■ オフのときは消灯します

ペダルを使ってみよう

ペダルで演奏にさまざまな変化がつけられます。

- ペダルは本製品に同梱されておりません。お買い求めの販売店で別途ご購入ください。

ペダルの接続

ペダル(別売品)を接続してください。



ペダルの効果を選ぶ

1. 液晶画面に“ジャック”と表示されるまで、**3** (機能)を何度か押します(4ページ)。

SUS
ジ[°]ャック

2. **16** (数字、+ボタン)の[-]または[+]を押して、ペダル効果の種類を選びます。

- ペダル効果の種類は下記の表のとおりです。

サステイン (SUS)	ペダルを踏んでいる間は弾いた音の余韻が長くなります。オルガンのような音色にすると、ペダルを踏んでいる間ずっと音が鳴り続けます。
ソステヌート (SoS)	鍵盤を押してからその鍵盤を離す前にペダルを踏むと、その音にだけサステインと同じ効果が掛かります。
ソフト (SfT)	ペダルを踏んでいる間に弾いた音を若干小さくします。
リズム (rHy)	自動伴奏やソングの開始/停止を行います。

音の高さを変えて弾いてみよう (トランスポーズ、チューニング)

半音単位で変える(トランスポーズ)

トランスポーズ機能とは、音の高さを半音単位で全体的に上げたり下げたりする機能です。同じ鍵盤を弾いても、実際に出る音の調(キー)を歌う人の声の高さに合わせて移調して演奏することができます。

- トランスポーズの設定範囲は上下1オクターブ(-12から+12半音まで)です。

1. **3** (機能)を押します。

00
トランスポ[°]ース

2. **16** (数字、+ボタン)の[-]または[+]を押して、移調するキーを決めます。

音の高さを微調整する(チューニング)

チューニング機能とは、音の高さを全体的に少しだけずらす機能です。他の楽器やCDの演奏と本機の音程が合わないときに微調整できます。

- チューニング機能では、A4の音の周波数を設定します。周波数の設定範囲は415.5~465.9Hz(初期値440.0)です。
- CDの演奏によっては、楽器のチューニングを微妙に変えて演奏されている場合もあります。

1. 液晶画面に“チューニング”と表示されるまで、**3**(機能)を何度か押します(4ページ)。

440
チューニング

2. **16**(数字、-+ボタン)の[-]または[+]を押して、チューニングを微調整します。

- 上の操作をすると、液晶画面の“チューニング”が、下記の周波数表示に変わります。0.1Hz単位で変更することができます。

440.0Hz

- 上記の操作をしなくても、数秒経過すると自動的に周波数表示に変わります。

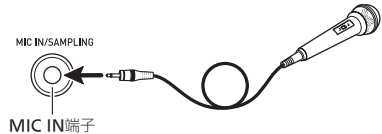
好きな音を記録して弾いてみよう (サンプリング)

この楽器はマイクから好きな音を記録して、鍵盤やパッドで演奏することができます。たとえば、犬の鳴き声を記録して演奏すれば、犬の鳴き声でメロディーを奏することもできます。サンプリング機能を使ってオリジナリティあふれたサウンドを作りましょう。

- 記録したサンプリング音を、ソングバンクの曲のメロディー音にすることもできます(サンプリングメロディー)。詳しくは、20ページ「サンプリング音でソングを鳴らしてみよう(サンプリングメロディー)」をご参照ください。

マイクの接続

付属のマイクを接続してください。



メモ

- 市販のダイナミックマイクもご使用になれます。

重要

- 接続する前に、本機とマイクの電源を切ってください。
- マイクは電源を入れて数秒後から使用してください。
- サンプリング音はモノラルで記録されます。
- オーディオ入力端子から記録することはできません。
- キーンという音(ハウリング)が出るときは、マイクの先端を手でおおわないようにして、本機のスピーカーから離してください。マイクホルダーにマイクを固定している場合には、マイクの音量(**85**)を下げるか、またはマイクの電源をお切りください。
- ノイズ(雑音)が出るときは、蛍光灯などからマイクを離すようにしてください。

音を記録して弾く

本機では、「フルサンプリング」と「ショートサンプリング」の2種類の方法で記録できます。

- 中央のド(C4)鍵盤で出る音が記録したままの音の高さです。C4を中心に上下の鍵盤を押すと、記録したデータの音の高さを変えて音を出します。

■フルサンプリング

2秒間までの長さの音を、1種類だけ記録できます。

1. 本機の音量を小さくしておきます。
2. マイクの電源を入れてから、本機の電源を入れます。
3. **85**でマイクからの音声レベルを調整しておきます。
4. **4**を押します。
記録待機の状態になります。



- **4**を押している間、音の高さが確認できるように中央のド(C4)の音が鳴ります(音取り)。音取りが鳴らないように設定を変更できます(15ページ)。

5. マイクに向けて音を出します。

自動的に記録をスタートし、約2秒後に終了します。

- 音量が小さすぎると記録を開始しません。
- 記録を終了後、サンプリングした音を使ったフレーズが再生されます。フレーズは数種類からランダムに選択されます。フレーズを再生しないように設定を変更できます(16ページ)。
- 記録した音は、音色番号の401番に保存されます。



6. 鍵盤を弾いてみましょう。

- パッド4, 5 (**20**, **21**)でも、記録した音を鳴らすことができます(9ページ)。

メモ

- 新しく記録すると、それまでに記録したデータ(ショートサンプリング音を含む)はすべて消去されます。

■ショートサンプリング

記録できる音の長さは約0.6秒以内と短めですが、そのかわり3種類の音まで記録できます。パッド1~3をそれぞれ違う音で鳴らして演奏してみましょう。

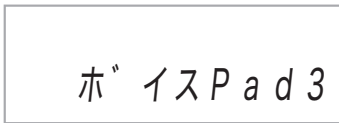
1. マイクと本機を準備します。

「フルサンプリング」の手順1~3(14ページ)をご参照ください。

2. **4**を押しながら、音を保存したい音色番号をパッド1~3(**17**~**19**)で選びます。

選ぶ音色番号	402	403	404
押すパッド	パッド1 (17)	パッド2 (18)	パッド3 (19)

例: パッド3を押して音色番号404を選んだ場合



- **4**を押している間、音の高さが確認できるように中央のド(C4)の音が鳴ります(音取り)。音取りが鳴らないように設定を変更できます(15ページ)。

4を離すと記録の待機状態になります。



3. マイクに向けて音を出します。

自動的に記録をスタートし、約0.6秒後に終了します。

- 音量が小さすぎると、記録を開始しません。



ボイスパッド
サンプリング
リバーブ

点灯します

4. 鍵盤を弾いてみましょう。

記録した音は、手順2で押したパッドでも鳴らすことができます。

メモ

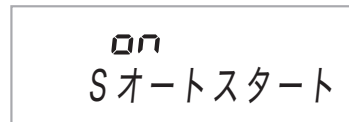
- 新しく記録すると、以前と同じ音色番号に保存した音や、フルサンプリング(14ページ)で記録した音は消去されます。

音取りが鳴らないようにする

1. 液晶画面に“Sオトリ”と表示されるまで、**3**(機能)を何度か押します(4ページ)。
2. **16**(数字、-+ボタン)の[-]を押して、オフに設定します。

記録を手動ではじめる

1. 液晶画面に“Sオートスタート”と表示されるまで、**3**(機能)を何度か押します(4ページ)。



2. **16**(数字、-+ボタン)の[-]を押して、オフに設定します。

この設定が選ばれていると、フルサンプリングの手順4や、ショートサンプリングの手順2で、**4**を離すとすぐに記録を開始します。

重要

- 記録はボタン(**4**)を離したときに開始します。ボタンを押している状態だと開始しませんのでご注意ください。

記録した音にさまざまな効果をつける

フルサンプリングで記録した音(音色番号401)にさまざまな効果をつけた音を出します。

1. **16** (数字、-+ボタン) で音色番号405~414を選びます。

これらの音色を選ぶと、サンプリングした音(401番)を繰り返し鳴らして、さらに音色名ごとの効果がかかります。

音色番号	音色名	効果の内容
405	ループ 1	サンプリングした音が繰り返し鳴ります。
406	ループ 2	鍵盤を離した後に、音の余韻のピッチが上がります。
407	ループ 3	鍵盤を離した後に、音の余韻のピッチが下がります。
408	ピッチ 1	だんだんピッチが高くなっていきます。
409	ピッチ 2	だんだんピッチが低くなっていきます。
410	ピッチ 3	だんだんピッチが低くなっていきます。鍵盤を離すと音の余韻のピッチが上がります。
411	トレモロ	音量が大きくなったり小さくなったりを繰り返します。
412	ファニー 1	ビブラートがかかり、ゆれ幅がだんだん大きくなります。
413	ファニー 2	ピッチが上がったり下がったりを繰り返します。
414	ファニー 3	ビブラートがかかり、だんだんピッチが高くなっていきます。

サンプリング音でリズムを鳴らしてみよう(ドラムアサイン)

打楽器の音を、ショートサンプリングで記録した音に変えて、自動伴奏のリズム(27ページ)を鳴らすことができます。

1. **3** (機能)と**4**を同時に押します。



しばらく何も操作しないと、元の表示に戻ります。

2. **16** (数字、-+ボタン)の[-]または[+]を押して、ドラムアサインのタイプを選びます。

オフ(OFF)	サンプリングした音は鳴りません。
タイプ1(dr1)	リズムのバスドラムを音色番号402の音に、スネアドラムを403の音にします。
タイプ2(dr2)	タイプ1よりもさらに多くの打楽器を、音色番号402~404の音にします。

3. リズムをスタートします(27ページ)。

選んだタイプのドラムアサインの音で、リズムが鳴ります。



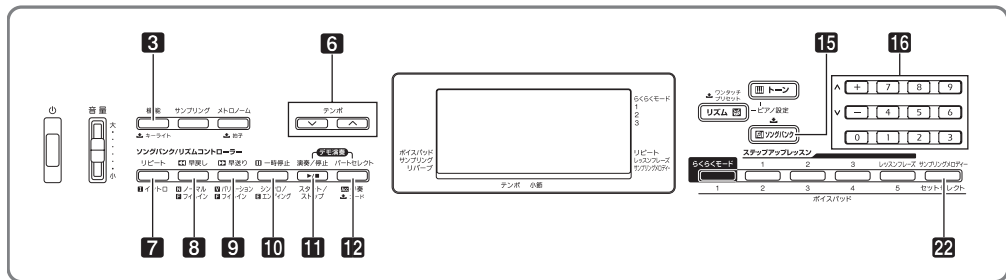
- リズムパートのドラム音のうちいくつかは、サンプリングした音に変えることができないものがあります。

サンプリングした音を使ったフレーズが再生されないようにする

1. 液晶画面に“Sフレーズ”と表示されるまで、**3** (機能)を何度か押します(4ページ)。

2. **16** (数字、-+ボタン)の[-]を押して、オフに設定します。

♪ ソング(内蔵曲)を鳴らそう



ソング(SONG)とはふつう「歌」のことを意味しますが、この楽器では曲データのことを指します。ソングを鳴らして聴いてみましょう。また、曲を聴くだけでなく曲に合わせて練習することもできます。

メモ

- この楽器にはソングを自動演奏させて鑑賞する機能だけでなく、自分で弾くための練習をサポートするレッスンシステム(21ページ)もあります。

デモを聴いてみよう

ソング(内蔵曲)のなかで鑑賞用の曲(001~100番)を番号順に連続して再生します。再生中に、他のソングに切り替えることができます。

1. 11と12を同時に押します。

- 再生がスタートします。
- 曲目は38ページをご参照ください。
- デモ曲は常に001番の曲からはじまります。



2. デモ中に曲を変えるには、16(数字、-+ボタン)の[-]または[+]を押して、曲番号を選びます(4ページ)。

- 選んだ曲番号のデモを開始します。
- 16(数字、-+ボタン)の数字ボタンで曲番号は選べません。

3. デモを終了するには11を押します。

- 11を押すまでデモの全曲目を繰り返します。

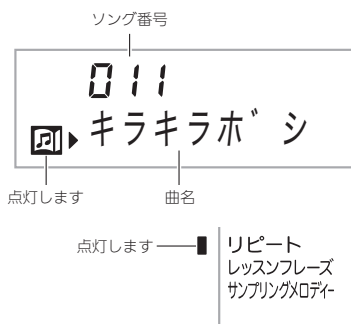
ソングを1曲ずつ聴いてみよう

この楽器に内蔵されているソングの中から好きな曲を選んで聴くことができます。また、ソングに合わせて弾くこともできます。

- ソングのメロディー音を、サンプリング音(13ページ)で再生することができます(サンプリングメロディー)。詳しくは、20ページ「サンプリング音でソングを鳴らしてみよう(サンプリングメロディー)」をご参照ください。

スタート/ストップ

1. 15(ソングバンク)を押します。



2. 16(数字、-+ボタン)を押して、好きなソングの番号を入力します。

- ソングの一覧は38ページをご参照ください。
- 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。
- 例: 036なら、「0」→「3」→「6」と入力します。

■「脳にキク」について

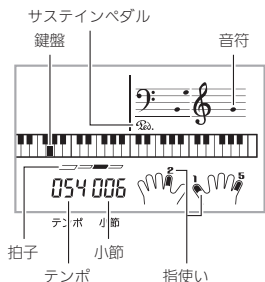
ソングの101~120番は、指のトレーニングのための曲集です。脳の活性化の効果も期待できます。

メモ

- 脳の活性化には個人差があります。
- 本機は医療機器ではありません。

3. **10**を押します。

ソング再生がスタートします。



4. もう一度**10**を押すと、ソング再生を途中で止めることができます。

ソングは**10**を押すまでリピート再生します。リピートを解除するには**7**を押します。



■一時停止、早送り、早戻し

音楽プレーヤーのように、ソングの一時停止や早送り/早戻しができます。

■一時停止

1. **10**を押します。

ソング再生を一時停止します。

2. もう一度**10**を押すと、停止したところからソング再生を再開します。

■早送り

1. **9**を押します。

ソングを早送りします。**9**を1回押すと1小節先に進みます。押し続けると連続して小節を進めます。

- 曲の停止中に**9**を押すと、レッスン機能のフレーズ送りを行います(23ページ)。



■早戻し

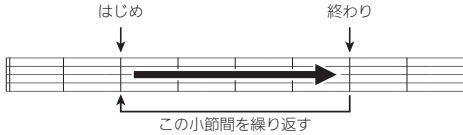
1. **8**を押します。

ソングを早戻しします。**8**を1回押すと1小節戻ります。押し続けると連続して小節に戻ります。

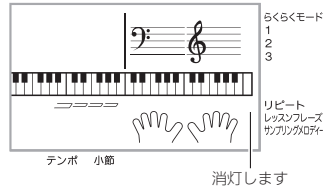
- 曲の停止中に**8**を押すと、レッスン機能のフレーズ戻しを行います(23ページ)。

曲の小節間を繰り返す(リピート)

上手に演奏できないフレーズを何度も繰り返し練習してみましょう。繰り返したい箇所のはじめの小節と終わりの小節を指定します。



4. もう一度**7**を押すと、通常の演奏に戻ります。
ソング番号を変えるとリピート内容は消去されます。



1. **7**を押して、曲のリピートを解除します。



速さ(テンポ)を変える

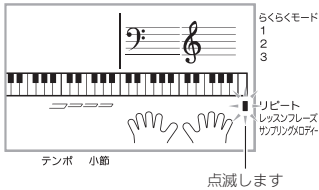
難しいフレーズはソング再生の速さ(テンポ)を変えて練習してみましょう。

1. **6**を押します。

- ✓を押すとテンポが遅くなり、∧を押すとテンポが速くなります。押し続けると連続して変えられます。
- ∨∧を一緒に押すと、ソングのオリジナルテンポに戻ります。
- 6**を押すと画面のテンポ数表示が点滅をはじめます。点滅中には**16**(数字、-+ボタン)でもテンポ数を変えることができます。しばらく何も操作しないと、元の表示に戻ります。
- ソング番号を変えると、ソングのオリジナルテンポに戻ります。

2. ソングの再生中に、**7**を押してリピートするはじめの小節を指定します。

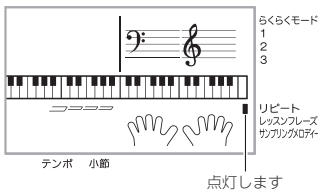
7を押したときの小節冒頭が指定されます。



3. リピートしたいところまで曲が進んだら、もう一度**7**を押して終わりの小節を指定します。

7を押したときの小節末尾が指定され、指定した小節間をリピート再生します。

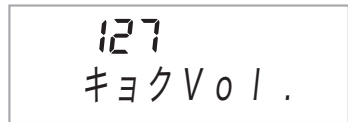
- リピート再生中に**8**、**9**、**10**を押すと、リピート部分の一時停止、早送り、早戻しができます。



ソングの音量を変える

自分で弾く音量とソング再生の音量のバランスを変えてみましょう。

1. 液晶画面に“キョクVol.”と表示されるまで、**3**(機能)を何度か押します(4ページ)。



2. **16**(数字、-+ボタン)の[-]または[+]を押して、ソングの音量を変えます。

ソングの音と同じ音色で弾いてみる

鍵盤の音色をソングと同じ音色にして、一緒に弾いてみましょう。

1. 液晶画面の音色名がそのソングの音色名に変わるまで、**15**(ソングバンク)をしばらく押し続けます。ソングの音色と同じ音色が選ばれているときは、液晶画面の音色名は変わりません。
2. ソング再生に合わせて弾いてみましょう。

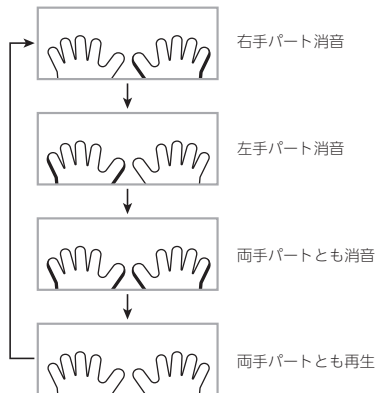
メモ

- 右手と左手で違う音色を使っているソングは、右手パートと同じ音色で弾けるようになります。

片手パートの音を消して練習する(パートセレクト)

ソングの右手パートと左手パートのうち、どちらか一方の音を消して、もう一方の音だけを再生することができます。最初から両手で弾くのは難しいと思ったら、一方のパートの音を消してもう一方のパート再生とあわせて練習してみましょう。

1. **12**を押して、ソングの音を消したいパートを選びます。**12**を押すたびに、下記のようにパート選択が切り替わります。



2. **10**を押します。

選んだパートの音を消して、ソングを再生します。

メモ

- どちらか一方のパートの音を消して再生しているときは、消したパートの音だけが液晶画面に表示されます。

ソングに合わせてマイクで歌ってみよう

ソングの再生に合わせて、マイクで歌って楽しむこともできます。

- マイクの接続等については13ページ(サンプリング)の、冒頭から「音を記録して弾く」の手順3までをご参照ください。
- 本機にマイクを固定する方法については、5ページをご参照ください。

サンプリング音でソングを鳴らしてみよう(サンプリングメロディー)

ソングのメロディー音を、サンプリング音(13ページ)で再生することができます。

1. **22**を押します。

- 音色番号401が自動的に選ばれます。
- 音色番号を変更したい場合は、液晶画面に“Sメロディー”と表示されるまで、**3**(機能)を何度か押した後(4ページ)、**16**(数字、+ボタン)を押してサンプリング音(音色番号401~414)を1つ指定します。

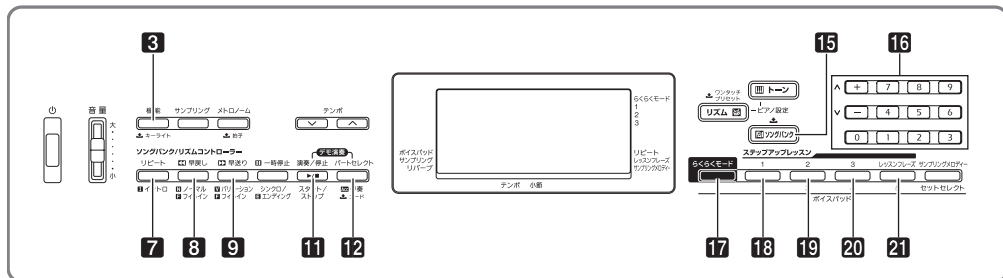


2. ソングを再生します。

- 再生に関する操作方法は、17ページ「ソングを1曲ずつ聴いてみよう」をご参照ください。
- 元の音色に戻すには、**22**を押します。



🎵 ソング(内蔵曲)で曲をマスターしよう



本機でソングを練習するには、下記の方法があります。

• らくらくモード(21ページ)

鍵盤の光るタイミングに合わせて、どれかひとつの鍵盤を次々と押せば、ソングのメロディーが鳴ります。初心者でも簡単に演奏を楽しんだり、鍵盤を弾くタイミングを覚えることができます。

• ステップアップレッスン(22ページ)

1曲を弾けるようになるまで、3段階に分けて練習することができます。

レッスン1: お手本の演奏を聴く

レッスン2: 表示のガイドを見ながら弾く

レッスン3: これまでの練習を思い出して弾く

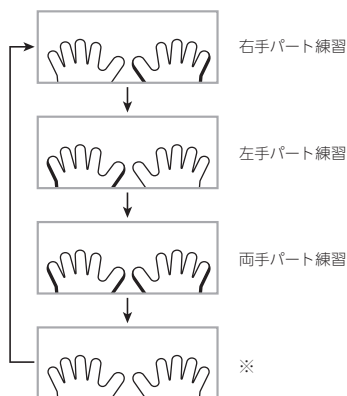
曲全体をいくつもの短い楽節(フレーズ)に分けて練習することもできます。

らくらくモード

1. 練習するソングを選びます(17ページ)。

2. **12**を押して、練習するパートを選びます。

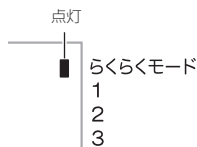
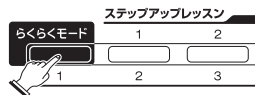
12を押すたびに、下記のようにパート選択が切り替わります。



※らくらくモード中に**12**を押した場合は、この画面を表示しないで右手パート練習に戻ります。

3. 液晶画面の音色名がそのソングの音色名に変わるまで、**15**(ソングバンク)をしばらく押し続けます。鍵盤の音がソングと同じ音色になります(20ページ)。

4. **17**を押します。



- カウントの後、(前奏のある曲は前奏に続き)1音目の待機状態になります。

5. 鍵盤のいずれか1つを続けて押して、演奏してみよう。



- カウント中および前奏中は、初めに押さえる鍵盤が点滅します(演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します)。弾くタイミングになると、光のガイドは点滅から点灯に変わります。
- 伴奏(または左手パート)は、次の鍵盤を押さえるまで待ってくれます。
- 誤って複数の鍵盤を続けて押すと、押した鍵盤の数だけ音が進行しますのでご注意ください。ただし、複数の鍵盤を同じタイミングで押した場合は、1つしか音は進みません。

6. らくらくモードを止めたい場合、**17**(または**11**)を押します。

ステップアップレッスン

右手、左手、両手の順にレッスンを進めます。

- 曲全体をいくつもの短い楽節(フレーズ)に分けて練習することもできます。詳細は、22ページ「フレーズについて」をご参照ください。

レッスン例

右手のレッスン1、2、3



左手のレッスン1、2、3



両手同時のレッスン1、2、3



1曲完成!



フレーズについて

この楽器に内蔵されている曲は、あらかじめ練習用のフレーズ(区間)が設定されています。



■ 曲をフレーズに分けて練習する

設定方法は以下の2つの方法があります。

- ソング再生中は変更することはできません。

レッスンフレーズボタン(**21**)を使う方法

1. **21**を押します。

- プリセット(PrE、フレーズに分ける設定)の場合。

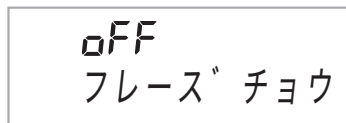


- オフ(oFF、フレーズに分けない)に戻すには、**21**を再び押します。



機能ボタン(8)を使う方法

1. 液晶画面に“フレーズチョウ”と表示されるまで、**8** (機能)を何度か押します(4ページ)。



2. **16** (数字、+ボタン)の[+]を押して、プリセット(PrE)に設定します。

- オフに戻すには、[-]を押します。

レッスン中のメッセージ表示について

ステップアップレッスンでは、レッスンの進行をサポートするために、下記のメッセージが液晶画面に表示されます。

メッセージ	内容
<フレーズ>	フレーズを選んだときや、レッスンを開始したときなどに表示されます。 • ただし一部のフレーズでは<フレーズ>の代わりに下記の<マチマス>が表示される場合があります。
<マチマス>	ソングの前奏や間奏などの、練習する音符が含まれていないフレーズのレッスンを開始したときに表示されます。このフレーズでは再生が終わると自動的に次のフレーズに進みますので、鍵盤を弾かずにご待ちください。
ツギニスム	次のフレーズへ自動的に進むときに表示されます。上記の<マチマス>が表示されたフレーズの再生が終わったとき、このメッセージが出てきます。

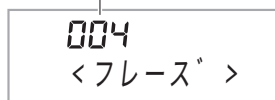
練習するソング、フレーズ、パートを選ぶ

最初に、練習するソング、フレーズ、パートを決めましょう。

1. 練習するソングを選びます(17ページ)。
ソングを選んだときは、最初のフレーズが選ばれます。
2. フレーズを選びたい場合、**9**を押すと、次のフレーズへ進み、**8**を押すと1つ前のフレーズに戻ります。

- **9**または**8**を押し続けると、フレーズを連続して切り替えられます。

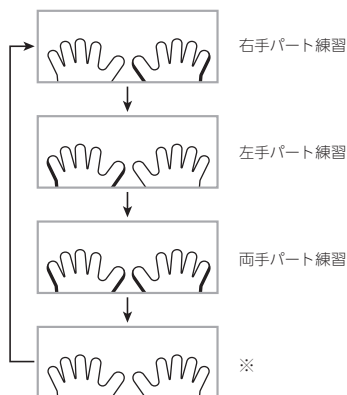
フレーズ番号



選ばれたフレーズの最初の小節

3. **12**を押して、練習するパートを選びます。

12を押すたびに、下記のようにパート選択が切り替わります。



※ステップアップレッスン中に**12**を押した場合は、この画面を表示しないで右手パート練習に戻ります。

4. 液晶画面の音色名がそのソングの音色名に変わるまで、**15** (ソングバンク)をしばらく押し続けます。
鍵盤の音がソングと同じ音色になります(20ページ)。

レッスン1~3をはじめよう

それではレッスンを始めましょう。最初に練習するソング、フレーズ、パートを選んでおきます。

■レッスン1、お手本の演奏を聴く

まずは、お手本の演奏を何度も聴いて曲を覚えましょう。

1. **[F3]**を押します。

お手本の演奏がはじまります。



2. お手本の演奏を止めたい場合は**[F3]**(または**[F1]**)を押します。

■レッスン2、表示のガイドを見ながら弾く

ソングを弾いてみましょう。液晶画面にこれから弾く鍵盤が表示されます。また、音声で指使いの番号をガイドします。ガイドに合わせて鍵盤を弾く練習をしましょう。間違えて押しでも大丈夫です。正しい鍵盤を弾くまで曲の再生が一時停止してくれます。あせらずゆっくり弾いてみましょう。

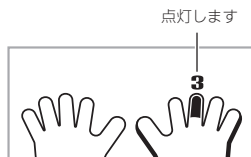
1. **[F3]**を押します。

レッスン2がはじまります。



2. 液晶画面表示と音声でガイドがはじまりますので、ガイドに合わせて鍵盤を弾く練習をしましょう。

液晶画面表示にはこれから弾く鍵盤がガイドされます。また、音声で指使いの番号をガイドします。



<レッスン2のガイドについて>

ガイドを参考にどの鍵盤をどの指で弾くのかを覚えて、タイミングを合わせて弾きます。



弾くタイミングがすぎても正しい鍵盤を弾かないと、曲が一時停止します。

- 鍵盤表示が点滅から点灯に変わります。
- 正しい鍵盤を音でガイドします。
- 音声で指使いの番号をガイドします。



正しい鍵盤を弾くと、曲演奏が再開され、次の鍵盤が点滅ガイドされます。

3. レッスン2を止めたい場合は**[F3]**(または**[F1]**)を押します。

●最後まで弾くとレッスン2の採点結果が表示されます。

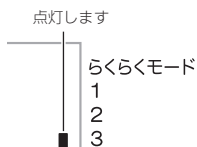
スバラシイ!	合格です。次のレッスンへ進みましょう。
モウイチド!	もう一度トライしましょう。

■レッスン3、これまでの練習を思い出して弾く

正しい鍵盤を弾くまで曲が停止したままになる点はレッスン2と同じですが、次に弾く鍵盤の事前のガイドがありません。レッスン2までの練習を思い出しながら弾いてみましょう。

1. **20**を押します。

レッスン3がはじまります。



2. 曲に合わせて弾きます。

<レッスン3のガイドについて>

レッスン2で覚えた鍵盤を弾きます。



弾くタイミングがすぎても正しい鍵盤を弾かないと、曲が一時停止します。

- 正しい鍵盤を音でガイドします。



それでも正しい鍵盤を弾かないと、レッスン2と同様の液晶画面と音声によるガイドが出ます。



正しい鍵盤を弾くと、曲演奏が再開されます。

3. レッスン3を止めたい場合は**20**(または**11**)を押します。

- 最後まで弾くとレッスン2と同様に、レッスン3の採点結果が表示されます。

■1曲を通して弾いてみる

最後に自動演奏に合わせて1曲弾いてみましょう。

1. **12**を押してパートを両手オフにして、**11**を押します。

両手で弾いてみましょう。練習の成果はいかがですか？

ステップアップレッスン中の さまざまな設定

指番号の音声ガイドを消す

レッスン2、レッスン3での音声による指使い番号ガイドをオフにできます。

1. 液晶画面に“ウンシオンセイ”と表示されるまで、**3** (機能)を何度か押します(4ページ)。

ON
ウンシオンセイ

2. **16** (数字、-+ボタン)の[-]を押して、オフに設定します。

弾くべき音のガイドを消す

レッスン2、レッスン3での弾くべき音が鳴るガイドをオフにできます。

1. 液晶画面に“サウンドナビ”と表示されるまで、**3** (機能)を何度か押します(4ページ)。

ON
サウンド ナビ

2. **16** (数字、-+ボタン)の[-]を押して、オフに設定します。

採点結果の表示を出さないようにする

レッスン2、レッスン3で表示される採点結果の表示機能をオフにできます。

1. 液晶画面に“サイテン”と表示されるまで、**3** (機能)を何度か押します(4ページ)。

ON
サイテン

2. **16** (数字、-+ボタン)の[-]を押して、オフに設定します。

フレーズを繰り返さないようにする

レッスン1からレッスン3で、練習しているフレーズを繰り返さないようにできます。

1. **7**を押します。

フレーズをリピートしなくなります。



消灯します——

リピート
レッスンフレーズ
サンプリングロディ-

練習するパートの音を聞き取りやすくする

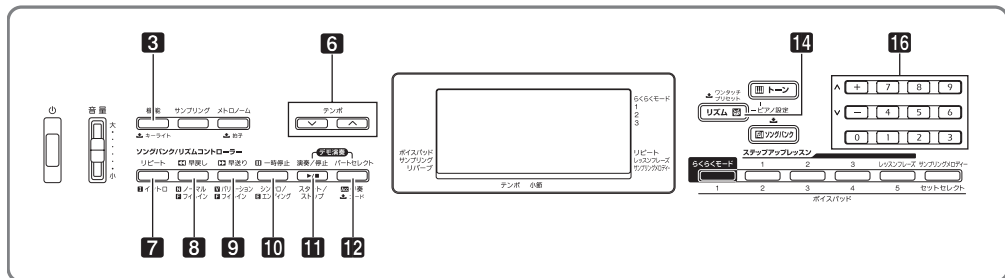
練習するパートの音を聞き取りやすくするために、再生する伴奏パートを全体的に少なくすることができます。

1. 液晶画面に“Lバソウ”と表示されるまで、**3** (機能)を何度か押します(4ページ)。



2. **16** (数字、+ボタン)の[-]を押して、オフに設定します。

自動伴奏をバックに演奏しよう



自動伴奏機能とは、お好みの伴奏リズムを選び、左手でコード(和音)を押すだけで、選んだリズムにぴったりの伴奏が自動に鳴る機能です。1人でもアンサンブル演奏をお楽しみいただけます。

メモ

- 自動伴奏で鳴るパート(楽器)には、下記の3種類があります。
 - (1) リズム(打楽器)
 - (2) ベース(低音楽器)
 - (3) ハーモニー(さまざまな楽器)

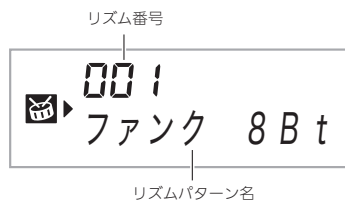
(1)だけを鳴らしたり、(1)～(3)の全楽器を同時に鳴らすこともできます。

リズムパートだけを鳴らそう

リズム(打楽器)は自動伴奏の土台となる重要なパートです。本機には8ビートやワルツなどさまざまな種類のリズムが内蔵されていますので、まずは基本となるリズムパートだけを聴いて、それに合わせて弾いてみましょう。

リズムパターンの選択とスタート/ストップ

- 14**(リズム)を押します。

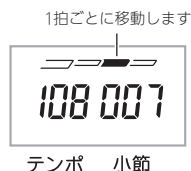


- 16**(数字、+ボタン)でリズム番号を入力します。

- リズムの種類は別紙「Appendix」をご覧ください。
 - 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。
- 例: 001なら、“0”→“0”→“1”と入力します。

- 11**(または**8**)を押します。

リズムがスタートします。



- リズムに合わせて弾きましょう。

- もう一度**11**を押すとリズムがストップします。

すべてのパートを鳴らしてみよう

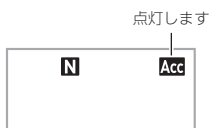
コードを付けて伴奏する

左手でコードを押さえると、選んだリズムにベースやハーモニーを加えた伴奏が自動的に演奏されます。1人で演奏してもバンド演奏のように楽しく演奏できます。

1. リズムパートの自動伴奏をスタートさせます。

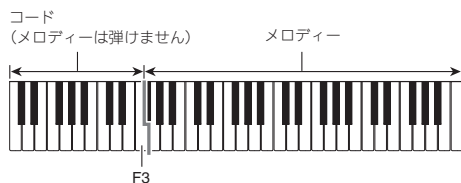
2. **12**を押します。

左側の鍵盤でコードを入力できる状態になります。



3. コード入力鍵盤でコードを押さえます。

ベースやハーモニーなど、リズムパート以外の楽器も鳴りはじめます。



例) コード入力鍵盤の「レ・ファ♯・ラ・ド」を押さえる。

「レ・ファ♯・ラ・ド」の和音(コード:D7)で伴奏が鳴ります。



4. 左手でいろいろなコードを押さえて、右手でメロディーを弾きましょう。

5. もう一度**12**を押すと、リズムだけの伴奏に戻ります。

メモ

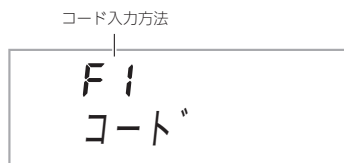
- コードを押さえると同時に伴奏をスタートさせるには、「シンクロスタート」(31ページ)をご参照ください。

コードの入力方法の選択

コードの入力方法は、以下の5種類から選べます。

- フィンガード1
- フィンガード2
- フィンガード3
- カシオコード
- フルレンジコード

1. 液晶画面にコードの入力方法の画面が表示されるまで、**12**をしばらく押し続けます。



2. **16** (数字、-+ボタン)の[-]または[+]を押して、コード入力方法を選びます。

- 入力方法の画面は、しばらく何も操作をしないと元の画面に戻ります。

■フィンガード1、2、3について

これらは、コード構成音のままに鍵盤を押さえて入力する方法です(一部のコードでは構成音を省略して、1~2鍵でも入力できます)。

入力できるコードの種類と鍵盤の押さえかたについては、39ページをご参照ください。

コード入力鍵盤



●フィンガード1

コードの構成音の鍵盤を押さえます。

F1

●フィンガード2

フィンガード1とは違い、6thの入力はできません。

F2

●フィンガード3

フィンガード1とは違い、一番低い鍵盤の音をベース音として分数コードが入力できます。

F3

■カシオコードについて

簡単な指使いで次の4種類のコードを演奏できます。

CC

コード入力鍵盤



コードの種類	例
メジャーコード コード入力鍵盤の上側にアルファベットで音名が書いてあります。コード名と同じ音名の鍵盤を1つ押します(コード入力鍵盤の範囲内であれば、1オクターブ違う同音でもかまいません)。	C(Cメジャー)
マイナーコード メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を1つ押します。	Cm(Cマイナー)
セブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を2つ押します。	C7(Cセブンス)
マイナーセブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を3つ押します。	Cm7 (Cマイナーセブンス)

メモ

- 2つ目以降の鍵盤は、1つめより右側なら白鍵/黒鍵を問わずどれでも使用できます。

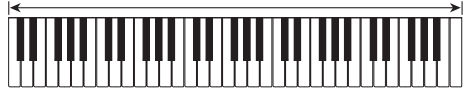
■フルレンジコードについて

すべての鍵盤でコードの入力とメロディー演奏ができます。

入力できるコードの種類については、39ページをご参照ください。

FrC

コード入力鍵盤/メロディー鍵盤



自動伴奏を使いこなそう

自動伴奏に変化をつけて演奏する

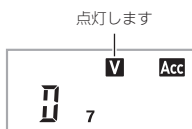
自動伴奏にメリハリをつけて演奏できます。気の利いたイントロから入る、サビ前をぐっと盛り上げる、おしゃれなエンディングをつけるなど、自動伴奏をさまざまに彩る演出機能を使いこなしましょう。

■バリエーション(伴奏パターンの変化形)

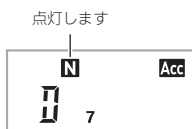
ノーマルパターン(基本)の演奏を変化させたバリエーションパターンです。基本パターンとは一味違った演出ができます。

1. **9**を押します。

バリエーションパターンがスタートします。



2. **8**を押すと、ノーマルパターンの演奏に戻ります。



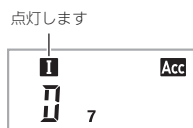
■イントロ(前奏)

数小節のイントロを入れます。

1. **7**を押します。

イントロがスタートします。イントロ演奏の後、通常のパターン演奏になります。

- イントロ演奏中に**9**を押した場合は、イントロ終了後にバリエーションパターン演奏になります。



■変化フレーズ(フィルイン)

曲の途中にフィルインを入れます。

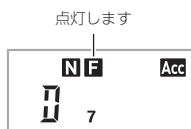
- フィルインとは、曲調の切れ目に入れる短いフレーズのことです。メロディーとメロディーのつなぎ目やアクセントとして使ったとき、とても華やかな演奏になります。
- ノーマル、バリエーションのそれぞれに違ったフィルインパターンがあります。

●ノーマル・フィルイン

1. ノーマルパターン演奏中に、**8**を押します。

ノーマルパターンのフィルインが演奏されます。

- フィルイン終了後にノーマルパターン演奏に戻ります。

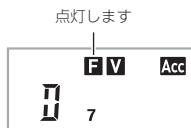


●バリエーション・フィルイン

1. バリエーションパターン演奏中に、**9**を押します。

バリエーションパターンのフィルインが演奏されます。

- フィルイン終了後にバリエーションパターン演奏に戻ります。



■エンディング(終わり)

数小節のエンディングパターンを入れます。

1. 自動伴奏の演奏中に、**10**を押します。

エンディングパターンが演奏され、自動的に伴奏が停止します。



■シンクロスタート(演奏と同時に伴奏をスタートする)
鍵盤を押すタイミングと同時に、伴奏をスタートさせることができます。

1. **10**を押します。

伴奏スタート待機の状態になります。



2. 鍵盤でコードを押さえます。

同時にフルパート伴奏(ノーマル)がスタートします。

シンクロ待機中に以下の操作をしておくと、ノーマル以外のパターンで開始できます。

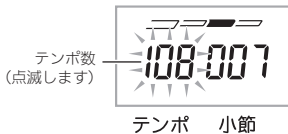
- イントロからはじめたいとき→**7**を押します。
- パリエーションからはじめたいとき→**9**を押します。

テンポ(速さ)を変える

自分の弾きやすいテンポに変えてみましょう。

1. **6**を押します。

- ✓を押すとテンポが遅くなり、∧を押すとテンポが速くなります。押し続けると連続して変えられます。
- ✓∧を一緒に押すと、そのとき選ばれているリズムの初期値に戻ります。
- **6**を押すと画面のテンポ数表示が点滅をはじめます。点滅中には**16**(数字、+ボタン)でもテンポ数を変えられます。
- しばらく何も操作をしないと、元の表示に戻ります。



自動伴奏の音量を変える

自分で弾く音量と自動伴奏の音量のバランスを変えてみましょう。

1. 液晶画面に“ハンソウVol”と表示されるまで、**3**(機能)を何度か押します(4ページ)。

ハンソウVol

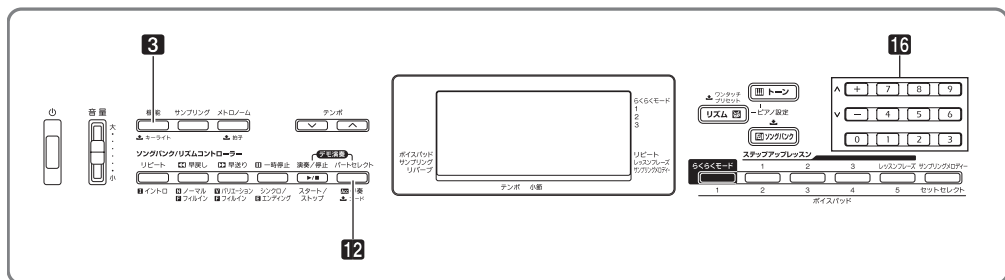
2. **16**(数字、+ボタン)の[-]または[+]を押して、伴奏の音量を変えます。

お勧めの音色やテンポにする (ワンタッチプリセット)

ワンタッチプリセットとは、リズムパターンごとにそのリズムに良く合った音色やテンポを、ワンタッチで呼び出すことができる機能です。

1. 液晶画面表示が音色の表示になるまで、**14**(リズム)をしばらく押し続けます。
鍵盤の音色やテンポなどが現在選択されているリズムに対応した設定にセットされます。
2. 鍵盤でコードを押さえて演奏します。
伴奏も同時にスタートします。

他の外部機器と接続する



パソコンとの接続

この楽器とパソコンを接続して演奏情報(MIDIデータ)の送受信ができます。楽器演奏をパソコンの音楽ソフト(市販品)へ送って記録したり、パソコンからこの楽器へデータを送って音を鳴らすことができます。

パソコンの動作環境

MIDIデータを送受信するために必要なパソコン環境は下記のとおりです。お手持ちのパソコン環境を必ず事前にご確認ください。

• 対応OS

- Windows Vista® ※1
- Windows® 7 ※2
- Windows® 8 ※3
- Windows® 8.1 ※4
- Mac OS® X(10.7, 10.8, 10.9, 10.10)

- ※1: Windows Vista(32bit版)
- ※2: Windows 7(32bit版, 64bit版)
- ※3: Windows 8(32bit版, 64bit版)
- ※4: Windows 8.1(32bit版, 64bit版)

• USB端子

重要

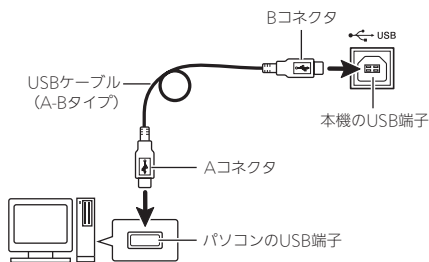
- 上記の対応OS以外のパソコンを接続すると、パソコンが故障する場合があります。絶対に接続しないでください。

接続方法

重要

- 正しい手順で接続しないとデータの送受信ができなくなる場合があります。必ず次の手順に従って接続してください。

1. 本機の電源を切り、パソコンを起動させておきます。
 - パソコンの音楽ソフトは起動させないでください。
2. 市販のUSBケーブルで、パソコンと本機を接続します。



3. 本機の電源を入れます。
 - 初めての接続では、データを送受信するために必要なドライバが自動でパソコンにインストールされます。
4. パソコンの音楽ソフト(市販品)を起動させます。
5. パソコンの音楽ソフトの設定で、MIDIデバイスとして「CASIO USB-MIDI」を選びます。
 - MIDIデバイスの選択方法については、お使いの音楽ソフトのマニュアルをご覧ください。

重要

- パソコンの音楽ソフトを起動させる前に、必ず本機の電源を入れておいてください。
- ソングの再生中(17ページ)や、電源切り忘れお知らせ機能(7ページ)で鍵盤が光っているときは、データを送受信することができません。パソコンと接続した際には、電源切り忘れお知らせ機能をオフしてお使いください。

メモ

- 1回接続に成功した後は、USBケーブルをつないだままでパソコンや本機の電源を入れなおすことができます。
- 本機はGM (General MIDI Level 1) に準拠しています。
- 本機のMIDIデータ送受信の詳細仕様や、接続についての最新のサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。

<http://casio.jp/support/emi/>

各種MIDI設定

キーボードチャンネル

キーボードチャンネルとは、鍵盤演奏のデータをパソコンへ送信するチャンネルのことです。本機の鍵盤演奏のデータをパソコンに送信するチャンネルを選びます。

- キーボードチャンネルの設定範囲は01～16です。

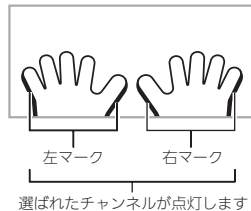
1. 液晶画面に“キー チャンネル”と表示されるまで、**3** (機能) を何度か押します (4ページ)。



2. **16** (数字、-+ボタン) の[-]または[+]を押して、チャンネルを変えます。

ナビゲートチャンネル

パソコンから送られてきた曲の音符情報のなかで、特定のチャンネル(パート)の音だけを画面の表示でガイドさせることができます。このチャンネルのことをナビゲートチャンネルといいます。



■ナビゲートチャンネルを設定する

この楽器では、01～16チャンネルの中から、隣りあった2つのチャンネル(例:05と06)をナビゲートチャンネルとして設定できます。番号の小さい方のチャンネルをナビゲート(左)チャンネル、番号の大きい方のチャンネルをナビゲート(右)チャンネルといいます。ナビゲート(右)チャンネルを設定すると、自動的にナビゲート(左)チャンネルも設定されます。

1. 液晶画面に“ナビチャンネル”と表示されるまで、**3** (機能) を何度か押します (4ページ)。



2. **16** (数字、-+ボタン) の[-]または[+]を押して、ナビゲート(右)チャンネルを設定します。ナビゲート(右)チャンネルの番号より1つ小さい番号のチャンネルが、自動でナビゲート(左)チャンネルに設定されます。

■ナビゲートチャンネルの音を消して鍵盤で演奏する
ナビゲートチャンネルとして設定した2つのチャンネルのうちどちらか片方、または両方のチャンネルの音を消して、自分で弾くことができます。

1. **12** を押して、音を消したいチャンネルを選びます。**12** を押すたびに、下表の(1)から(4)の状態が順に切り替わります。
 - 音を消したチャンネルのパートと同じ音色で鍵盤が弾けるようになります。両方のチャンネルとも音を消した場合(下表の(3))は、ナビゲート(右)チャンネルの音色になります。

	ナビゲート(左)チャンネル		ナビゲート(右)チャンネル	
	発音	画面のガイド	発音	画面のガイド
(1) 右マークのみ点灯時	○	×	×	○
(2) 左マークのみ点灯時	×	○	○	×
(3) 左右両マーク点灯時	×	○	×	○
(4) 左右両マーク消灯時	○	○	○	○

ローカルコントロール

パソコンとデータを送受信している際に、弾いている鍵盤の音をこの楽器から出したい場合があります。ローカルコントロールの設定をオフにすれば弾いている鍵盤の音を消すことができます。

1. 液晶画面に“MIDIローカル”と表示されるまで、**3** (機能) を何度か押します(4ページ)。



2. **16** (数字、-+ボタン)の[-]を押して、オフに設定します。

アンプアウト

この設定をオンにすると、自動伴奏の演奏データをパソコンに送信します。

1. 液晶画面に“アンプアウト”と表示されるまで、**3** (機能) を何度か押します(4ページ)。



2. **16** (数字、-+ボタン)の[+]を押して、オンに設定します。

オーディオ機器とつなぐ

市販のステレオやアンプに接続して大きな音量で鳴らしたり、録音機器に接続して本機での演奏を録音したりできます。また、携帯オーディオプレーヤーなどの音を本機で鳴らしながら、それをバックに演奏して楽しむことができます。

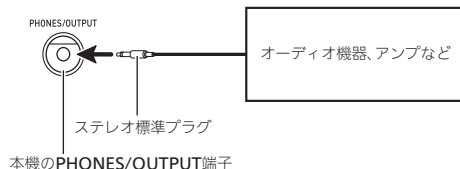
本機の音を外部機器で鳴らす

接続には市販の接続コードが使用できます。

- 片側がステレオ標準プラグ、もう一方は外部機器の入力端子に接続できるものをご用意ください。

重要

- 接続するときはすべての外部機器の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。
- 接続した後は本機、外部機器の順番で電源を入れてください。
- 外部機器で鳴らした本機の音が歪んだ音で聴こえる場合は、本機の音量を下げてください。



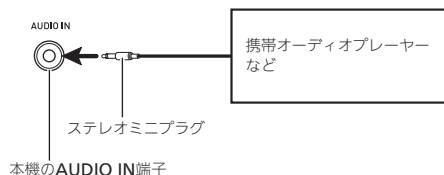
外部機器の音を本機で鳴らす

接続には市販の接続コードが使用できます。

- 片側がステレオミニプラグ、もう一方は外部機器の出力端子に接続できるものをご用意ください。

重要

- 接続するときは本機の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。
- 接続した後は外部機器、本機の順番で電源を入れてください。
- 本機で鳴らした外部機器の音が歪んだ音で聴こえる場合は、外部機器の音量を下げてください。



困ったときは

症状	対策
付属品	
梱包箱のなかに付属品が見つからない。	緩衝材の中も探してみる。
電源	
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターの接続状態や、電池の装着方向が正しいか確認する(5ページ)。 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
大きな音を出すと、突然電源が切れる。	新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
数分ほど弾かないでいると、突然電源が切れる。	オートパワーオフ機能を解除する(7ページ)。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
表示	
数分ほど弾かないでいると、急に鍵盤が光りはじめて、鍵盤やボタンを押すと元に戻る。	電源切り忘れお知らせ機能をオフにする(7ページ)。
液晶画面の表示が暗くなったり、ちらつくようになった。	新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
液晶画面の鍵盤や楽譜表示で、音の表示が点灯したままになった。	ステップアップレッスンで、次の音の鍵盤が弾かれるのを待っている状態です。レッスンを停止させると、音の表示も消灯します(24ページ)。
液晶画面の表示が一定の方向からしか見えない。	本機の製造上の制約等によるもので、故障ではありません。
音	
鍵盤を弾いても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 音量の設定(7ページ)を変えてみる。 本機背面のPHONES/OUTPUT端子(89)にプラグが挿さっていないか確認する。 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
左側の鍵盤だけ音が出ない(あるいは通常と違う音が鳴る)。	12 を押して、自動伴奏のコード入力ができる状態を解除する(28ページ)。
自動伴奏をスタートしても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> リズム番号の96~100番は、コードを入力しないと音が鳴らないリズムパターンです。コードを入力してみてください(28ページ)。 伴奏の音量の設定(31ページ)を確認して調整する。 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
ソングの自動演奏をスタートしても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ボタンを押してからソングが始まるまでに少し時間がかかります。ソングが始まるまで少しお待ちください。 曲の音量の設定(19ページ)を確認して調整する。 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
メトロノームの音が鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> 伴奏の音量の設定(31ページ)を確認して調整する。 曲の音量の設定(19ページ)を確認して調整する。 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
音が鳴りっぱなしで止まらなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
鳴らしている音が途切れてしまう。	同時に鳴っている音の数が48(音色によっては24)を超えると発生します。故障ではありません。
音量や音質が変わってしまった。	<ul style="list-style-type: none"> 音量の設定(7ページ)を変えてみる。 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(5ページ)。
鍵盤を弾くタッチを変えても、出る音の音量が変わらない。	<ul style="list-style-type: none"> タッチレスポンスの設定(8ページ)を変えてみる。 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。

症状	対策
特定の鍵盤の音量や音質が、他の鍵域の鍵盤と若干違って聴こえる。	本機のシステムの制約等によるもので、故障ではありません。
端の方の鍵盤を弾いていると、同じオクターブの音が繰り返されるように聴こえる音色がある。	本機のシステムの制約等によるもので、故障ではありません。
音の高さが他の楽器とあわない(あるいは不自然に聴こえる)。	<ul style="list-style-type: none"> • トランスポーズ(12ページ)やチューニング(13ページ)の設定を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
音の響きが急に変わったように感じる。	<ul style="list-style-type: none"> • リバープの設定(12ページ)を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる(7ページ)(各種設定は初期化されます)。
操作	
ソングの早送りや早戻しをすると、1小節ごとではなく何小節もまとめて移動してしまう。	ソングの停止中、またはステップアップレッスン中に早送りや早戻しをすると、フレーズ単位で移動します(18ページ)。
パソコンとの接続	
MIDIデータの送受信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機とパソコンがUSBケーブルで正しく接続されているか、あるいはパソコンの音楽ソフトの設定でデバイスが正しく選ばれているか確認する(32ページ)。 • 本機の電源を切ってパソコンの音楽ソフトを終了させてから、本機の電源を入れてパソコンの音楽ソフトを再起動させてみる。

製品仕様

型式	LK-122
鍵盤	61鍵盤 2種類、オフ
タッチレスポンス機能 光ガイド機能	最大同時発光数:4鍵(一部のソング再生中は5鍵)
同時発音数	最大48音(一部音色では最大24音)
音色機能	
プリセット音色	400音色
サンプリング音色	1(フルサンプリング)、または3(ショートサンプリング) 記録時間:2秒(フルサンプリング)、または約0.6秒(ショートサンプリング) 効果:10タイプ(フルサンプリング音) その他:サンプリングメロディー
リバーブ機能	10種類、オフ
ボイスパッド	5パッド×4セット (サンプリング用:3セット、パーカッション固定:1セット)
メトロノーム機能	
拍子	0、2~6拍子
テンポ	30~255
ソングバンク機能	
プリセットソング	120曲
らくらくモード機能	
レッスンパート	左手、右手、両手
その他	リピート
ステップアップレッスン機能	
レッスンの種類	3種類(レッスン1/2/3)
レッスンパート	左手、右手、両手
その他	リピート、連指音声、弾くべき音のガイド、採点
自動伴奏機能	
プリセットリズム	100種類
ワンタッチプリセット	100種類
その他の機能	
トランスポーズ	±1オクターブ(-12 ~ 0 ~ +12半音)
チューニング	A4 = 415.5~465.9Hz(初期値: 440.0Hz)
MIDI機能	16chマルチティンバー受信、GMレベル1準拠
ミュージカルインフォメーション機能	音色/自動伴奏/ソングバンクの番号および名称、五線譜、連指、ペダル、テンポ、小節数/拍子、コード名等
端子	
USB端子	タイプB
サステイン端子	標準ジャック(サステイン、ソステヌート、ソフト、リズム)
ヘッドホン/アウトプット端子	ステレオ標準ジャック 出力インピーダンス:200Ω、出力電圧:4.5V(RMS)MAX
オーディオ入力端子	ステレオミニジャック 入力インピーダンス:9kΩ、入力感度:200mV
マイク入力/サンプリング端子	標準ジャック(ダイナミックマイクを接続) 入力インピーダンス:3kΩ、入力感度:10mV
電源端子	DC9.5V
電源	2電源方式
電池	単3形マンガン乾電池または単3形アルカリ乾電池6本使用
電池持続時間	約3時間(アルカリ乾電池使用時)
ACアダプター	AD-E95100L
オートパワーオフ機能	約6分後(乾電池使用時)/約30分後(ACアダプター使用時)、キャンセル可能
スピーカー	10cm×2(出力:2.0W+2.0W)
消費電力	9.5V---7.7W
サイズ幅	幅94.6×奥行き30.7×高さ9.2cm
質量	約3.6kg(乾電池含まず)

• 改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更することがあります。

ソングリスト

ソングバンク

No.	曲名	楽譜集		歌詞集
		名称	No.	
アニメ/スクリーン/ポップス				
001	Miracle Go! プリンセスアリアキュア	Song Book 2	1	Lyric Book
002	ドリドリ 「ポケットモンスター XY」より	Song Book 2	2	Lyric Book
003	レット・イット・ゴー～ありのままで～ 「アナと雪の女王」より	Song Book 2	3	Lyric Book
004	がむしゃら行進曲	Song Book 2	4	Lyric Book
005	RPG	Song Book 2	5	Lyric Book
006	夢をかなえてドラえもん	Song Book 2	6	Lyric Book
007	アンパンマンのマーチ	Song Book 2	7	Lyric Book
008	さんぽ「となりのトトロ」より	Song Book 2	8	Lyric Book
009	ミッキー・マウス・マーチ	Song Book 2	9	Lyric Book
010	ハッピー・パースデイトゥ・ユー	Song Book 2	10	Lyric Book
世界の曲				
011	きらきら星	Song Book	1	Lyric Book
012	ちょうちょう	Song Book	2	Lyric Book
013	ロング・ロング・アゴー	Song Book	3	Lyric Book
014	オン・トップ・オブ・オールド・スモーカー	Song Book	4	Lyric Book
015	さくらさくら	Song Book	5	Lyric Book
016	聖者の行進	Song Book	6	Lyric Book
017	アメイズング・グレイス	Song Book	7	Lyric Book
018	ほたるの光	Song Book	8	Lyric Book
019	ぶんぶんぶん	Song Book	9	Lyric Book
020	かわいいオーガステン	Song Book	10	Lyric Book
021	こげよマイケル	Song Book	11	Lyric Book
022	ダニー・ボーイ	Song Book	12	Lyric Book
023	マイ・ボニー	Song Book	13	Lyric Book
024	埴生の宿	Song Book	14	Lyric Book
025	オーラ・リー	Song Book	15	Lyric Book
026	峠の我が家	Song Book	16	Lyric Book
027	アロハ・オエ	Song Book	17	Lyric Book
028	サンタ・ルチア	Song Book	18	Lyric Book
029	ふるさと	Song Book	19	Lyric Book
030	グリーンスリーブス	Song Book	20	Lyric Book
031	ジェリコの戦い	Song Book	21	Lyric Book
032	パン屋さん	Song Book	22	Lyric Book
033	ロンドン橋	Song Book	23	Lyric Book
034	大きな栗の木の下で	Song Book	24	Lyric Book
035	森のくまさん	Song Book	25	Lyric Book
036	大きな古時計	Song Book	26	Lyric Book
037	アニー・ローリー	Song Book	27	Lyric Book
038	夢路より	Song Book	28	Lyric Book
039	しあわせなら手をたたこう	Song Book	29	Lyric Book
040	愛しのクレメンティン	Song Book	30	Lyric Book
041	茶色のこびん	Song Book	31	Lyric Book
042	朝日のあたる家	Song Book	32	Lyric Book
043	黄色いリボン	Song Book	33	Lyric Book
044	アルプス一万尺	Song Book	34	Lyric Book
045	ケンタッキーの我が家	Song Book	35	Lyric Book
046	森へ行きましょう	Song Book	36	—
047	トロイカ	Song Book	37	Lyric Book
048	ワルツィング・マチルダ	Song Book	38	Lyric Book
049	アビニョンの橋で	Song Book	39	Lyric Book
050	線路は続くよどこまでも	Song Book	40	Lyric Book
051	おお Suzanne	Song Book	41	Lyric Book
052	草競馬	Song Book	42	Lyric Book
053	金髪ジェニー	Song Book	43	Lyric Book
054	わらの中 <small>の</small> 七面鳥	Song Book	44	Lyric Book
055	さらばジャマイカ	Song Book	45	Lyric Book

No.	曲名	楽譜集		歌詞集
		名称	No.	
イベント				
056	きよしこの夜	Song Book	46	Lyric Book
057	おめでとくクリスマス	Song Book	47	Lyric Book
058	ジングル・ベル	Song Book	48	Lyric Book
059	もろびとこぞりて	Song Book	49	Lyric Book
060	もみの木	Song Book	50	Lyric Book
ピアノ/クラシック				
061	メリーさんのひつじ	Song Book	51	—
062	白鳥「動物の謝肉祭」より	Song Book	52	—
063	ジュ・トゥ・ヴ	Song Book	53	—
064	ソナタ 作品13「悲愴」第2楽章	Song Book	54	—
065	野ばら	Song Book	55	—
066	G線上のアリア	Song Book	56	—
067	春「四季」より	Song Book	57	—
068	ハバネラ 歌劇「カルメン」より	Song Book	58	—
069	乾杯の歌 歌劇「椿姫」より	Song Book	59	—
070	ハンガリー舞曲 第5番	Song Book	60	—
071	ト長調のメヌエット	Song Book	61	—
072	二長調のミュゼット	Song Book	62	—
073	ガボット (ゴセック)	Song Book	63	—
074	アラバスク (ブルクミュラー)	Song Book	64	—
075	チョップスティックス	Song Book	65	—
076	ひいらぎざきざらう	Song Book	66	—
077	喜びの歌	Song Book	67	—
078	アヴェ・マリア (グノー)	Song Book	68	—
079	ソナチネ 作品36の1 第1楽章	Song Book	69	—
080	プレリュード 作品28の7 (ショパン)	Song Book	70	—
081	夢	Song Book	71	—
082	ジムノペディ 第1番	Song Book	72	—
083	家路「新世界から」より	Song Book	73	—
084	エリーゼのために	Song Book	74	—
085	トルコ行進曲 (モーツァルト)	Song Book	75	—
086	ソナタ 作品27の2「月光」第1楽章	Song Book	76	—
087	別れの曲	Song Book	77	—
088	エンターテイナー	Song Book	78	—
089	結婚行進曲「真夏の夜の夢」より	Song Book	79	—
090	アメリカン・パトロール	Song Book	80	—
091	楽しき農夫	Song Book	81	—
092	貴婦人の乗馬	Song Book	82	—
093	ソナタ K. 545 第1楽章	Song Book	83	—
094	乙女の祈り	Song Book	84	—
095	小犬のワルツ	Song Book	85	—
096	愛の夢 第3番	Song Book	86	—
097	主よ、人の望みの喜びよ	Song Book	87	—
098	カノン (パッヘルベル)	Song Book	88	—
099	セレナード「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より	Song Book	89	—
100	行進曲「くるみ割り人形」より	Song Book	90	—
脳にキク				
101~120	脳にキク 1~20	—	—	—

指定できるコード種一覧

フィンガード1、2で指定できるコード種

C (メジャー)	
Cm (マイナー)	
Cdim (ディミニッシュ)	
Caug (オーギュメント) ^{※3}	
Csus4 (サスフォー) ^{※3}	
Csus2 (サスツー) ^{※3}	
C7 (セブンス)	
Cm7 (マイナーセブンス) ^{※3}	
CM7 (メジャーセブンス)	
Cm7 ^{♯5} (マイナーセブンスフラットフィフス) ^{※3}	
C7 ^{♯5} (セブンスフラットフィフス) ^{※3}	
C7sus4 (セブンスサスフォー)	
Cadd9 (アドナインズ)	
Cmadd9 (マイナーアドナインズ)	
CmM7 (マイナーメジャーセブンス)	
Cdim7 (ディミニッシュセブンス) ^{※3}	
C69 (シックスナインズ) ^{※3}	
C6 (シックス) ^{※1 ※3}	
Cm6 (マイナーシックス) ^{※2 ※3}	

※1 フィンガード2では、Am7として判別されます。

※2 フィンガード2では、Am7^{♯5}として判別されます。

※3 転回形では使えない場合があります。

フィンガード3、フルレンジコードで指定できるコード種

フィンガード1、2で指定できるコード種に加え、下記のコード種が判別できます。

$\frac{C^\sharp}{C}$ · $\frac{D}{C}$ · $\frac{E}{C}$ · $\frac{F}{C}$ · $\frac{G}{C}$ · $\frac{A^\flat}{C}$ · $\frac{B^\flat}{C}$ · $\frac{B}{C}$ · $\frac{C^\sharp m}{C}$ · $\frac{Dm}{C}$ · $\frac{Fm}{C}$
$\frac{Gm}{C}$ · $\frac{Am}{C}$ · $\frac{B^\flat m}{C}$ · $\frac{Ddim}{C}$ · $\frac{A^\flat 7}{C}$ · $\frac{F7}{C}$ · $\frac{Fm7}{C}$ · $\frac{Gm7}{C}$ · $\frac{A^\flat add9}{C}$

メモ

- フィンガード3では、最低音がベース音として判別され、転回形は使えません。
- フルレンジコードでは、最低音とその次の音がある程度離れている場合に、分数コードとして判別されます。フルレンジコードではフィンガード1・2・3と異なり、鍵盤を3つ以上押ししたときに限りコードが指定されます。

保証・アフターサービスについて

保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています

修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理サービス窓口」が修理をさせていただきます。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」までご連絡ください。

● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

あらかじめご了承くださいこと

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。
また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
- 修理のとき、交換した部品を再生、再利用する場合があります。修理受付時に特段のお申し出がない限り、交換した部品は弊社にて引き取らせていただきます。
- 録音機能などのデータ記憶機能付きのモデルでは、修理のとき、故障原因の解析のため、データを確認させていただくことがあります。また、お客様のデータが消える場合がありますので、必要なデータは修理に出す前にお客様にてバックアップをお願いいたします。
- 日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内の「修理サービス窓口」にご依頼ください。

アフターサービスなどについておわかりにならないときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

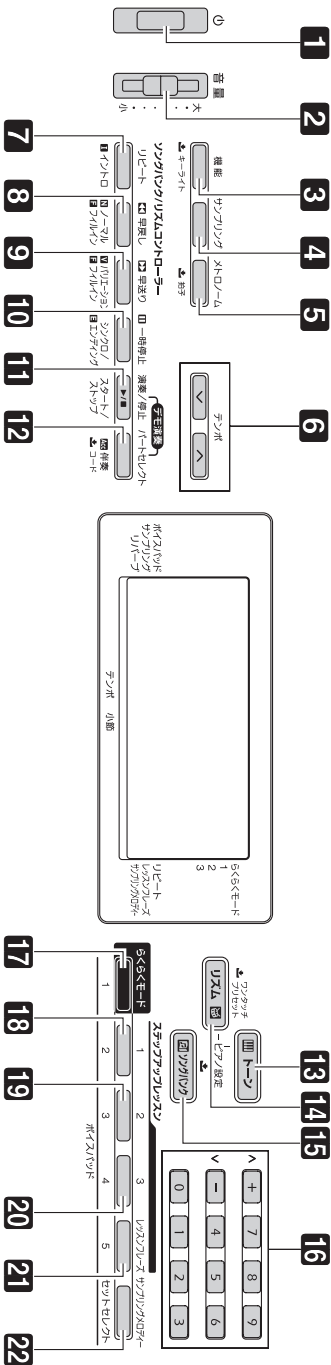
コード例一覧

根音 (ルート) の振動	C	C [#] (D ^b)	D	(D [#])E ^b	E	F	F [#] (G ^b)	G	(G [#])A ^b	A	(A [#])B ^b	B
M												
m												
dim												
aug												
sus4												
sus2												
7												
m7												
M7												
m7 ^b 5												
7 ^b 5												
7sus4												
add9												
madd9												
mM7												
dim7												
69												
6												
m6												

•コード入力鍵盤の範囲などの制約により、一部のコードでは上記のとおり指定できない場合があります。

• 点線から切り離して、本書の操作説明を読むときに活用ください。

LK-122



MIDI インプリメンテーション・チャート

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	1 1 ~ 16	1 ~ 16 1 ~ 16	
モード	モード3 X *****	モード3 X *****	
ノート ナンバー	36 ~ 96 *****	0 ~ 127 0 ~ 127 *1	
ベロシティ	0 9nH v = 1 ~ 127 X 9nH v = 0	0 9nH v = 1 ~ 127 X 9nH v = 0, 8nH v = **	**は関係なし
アフター タッチ	X X	X O	
ピッチバンド	X	O	
0, 32 1 6, 38 7 10 11 64	O X X O O X O *3	O (MSBのみ) O O *2 O O O O	バンクセレクト モジュレーション データエントリー ポリエーム パン エクスプレッション ホールド1
コントロール チェンジ			

66 67 91 100, 101	○*3 ○*3 × ×	○ ○ ○ ○*2	ソフトウェア ソフト リバーブセンド RPN LSB, MSB
プログラムチェンジ 設定可能範囲	○0～127 *** ** ** ** *	○0～127	
エクスクルージブ	○*2	○*2	
ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルトイ クロック コマンド	○ ○	× ×	
その他 オールサウンドオフ リセットオールコントロール ローカル オン/オフ オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× ○ × ○ × ×	○ ○ × ○ ○ ×	
備考	*1: 音色による *2: 送信対応NRPN, RPN, システム・エクスクルージブ・メッセージの詳細は MIDI Implementation (http://casio.jp/support/emi/) 参照 *3: サステイン端子の設定により択一		
モード1: オムニ・オン、ポリ モード3: オムニ・オフ、ポリ	モード2: オムニ・オン、モノ モード4: オムニ・オフ、モノ	○: あり ×: なし	

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

K MA1506-A Printed in China



LK122-JA-1A

© 2015 CASIO COMPUTER CO., LTD.